

<タイトル原寸>

教えます!

の
魅力

まちの
達人
たち
街トピ

今週号では、「好きこそ物の上手なれ!」を、生活や職場で実践している人たちを紹介します。彼ら「達人」の得意分野を見聞き、参考にするとあなたの暮らしにもプラスアルファの楽しさが加わるかもしれません。

<本文原寸>

街トピ
バラを贈る達人が語る「バラの花束」の魅力!

女性なら、「バラの花束」を贈られたら、きっと感動してしまうはず! 日進市で印刷業を営む余語成明さんは、10年前から仕事でお世話になっている女性や飲食店ですてきな女性に出会うと、年齢を聞き、その人の年の数だけのバラをプレゼントしていただきました。「あげた時はまず驚かれるね」と笑う余語さん。それでも、次に会った時は気軽にあいさつされたり、会話が弾むんだとか。

バラにした理由は、たまたま知人にバラ農園がいたからだろうですが、気高いバラを贈るうちに、シャイな性格に自信がついた気がするとも話します。

ついには「余語印刷」(同市米野木町家下4)に「薔薇しか

ない花屋」を開店。1本100円で販売しています(要事前予約)。「同

じ花束でも、バラというだけで贈る人も贈られる人も喜びが倍増すると思いますよ。もちろん男女問わずお勧めです」

問/同社
(電話)05
61・73・
4545)



写真上/話を伺った余語さん。同右/余語印刷内の「薔薇(ばら)しかない花屋」。花屋の営業は、毎週月曜～金曜の午前9時～午後4時。予約は100本まで。毎月19日に買い物すると、バラ3本無料でプレゼント



<写真下の文字拡大>

写真上/話を伺った余語さん。同右/余語印刷内の「薔薇(ばら)しかない花屋」。花屋の営業は、毎週月曜～金曜の午前9時～午後4時。予約は100本まで。毎月19日に買い物すると、バラ3本無料でプレゼント